

会社概要

商号	株式会社IMAGICA GROUP (IMAGICA GROUP Inc.)
創立	1935年2月18日
本店所在地	東京都港区
事務所所在地	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目14番2号
資本金	33億600万2,543円
代表者	代表取締役会長 長瀬文男 代表取締役社長 長瀬俊二郎
従業員数	4,202名 (1,277名)

※ 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に外数で記載しております。

株式の状況

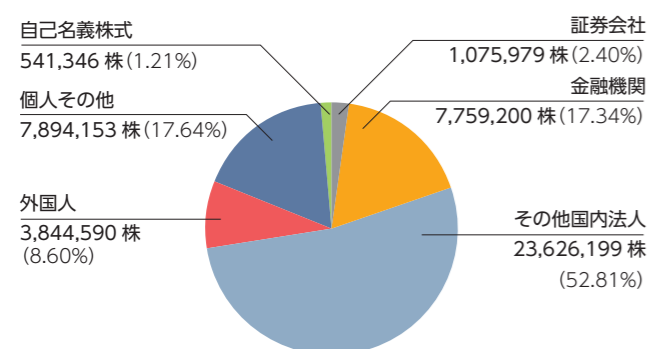
発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式総数	44,200,121 株 (自己株式541,346株を除く)
1単元の株式の数	100 株
株主数	10,198 名

大株主 (上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社クアーク	20,642	46.70
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,836	10.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,665	6.03
GOVERNMENT OF NORWAY	908	2.05
KIA FUND 136	610	1.38
IMAGICA GROUP従業員持株会	530	1.20
JPモルガン証券株式会社	435	0.98
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	424	0.95
株式会社クアークホールディングス	400	0.90
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	341	0.77

※ 持株比率は自己株式数(541,346株)を控除して算出しております。

株式の分布状況



役員 (2024年7月1日付)

代表取締役会長	長瀬 文男
代表取締役社長 社長執行役員	長瀬 俊二郎
取締役 専務執行役員	森田 正和
取締役 執行役員	中村 昌志
取締役	村上 敦子
取締役 監査等委員	千葉 理
	山川 丈人
	中沢 ひろみ
執行役員	釜 秀樹
	志村 晶
	瀧水 隆
	吉沢 雅治
	梅田 英士

※ 村上 敦子氏、千葉 理氏、山川 丈人氏、中沢 ひろみ氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 0120-782-031(フリーダイヤル) https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	https://www.imagicagroup.co.jp/ir/announcement.html
上場証券取引所	東証プライム市場
証券コード	6879

X	公式X https://x.com/IMAGICAGROUP	
note	公式note https://www.note.imagicagroup.co.jp/	

就任のごあいさつ



「変化対応」「最適な市場の選択」
「新たなビジネスモデル」をベースに
資本効率を重視したグループを目指します。

株式会社IMAGICA GROUP
代表取締役社長 社長執行役員

長瀬俊二郎

平素より株主の皆さまには格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

2024年4月1日に、株式会社IMAGICA GROUPの代表取締役社長に就任いたしました、長瀬俊二郎でございます。2024年3月期の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社グループは1935年の創業以来、映画用フィルムの現像事業を経て、エンタテインメントから産業に至るまで、「映像の制作」だけにとどまらず、映像の枠を越えた多様なサービスや製品をグローバルに提供しております。時代の変化や市場のニーズを汲み取り、新しい事業へ挑戦し続けてまいりました。変化をいとわず新しい分野、市場にチャレンジし続けてきた経験は私たちのかけがえない財産、強みであると考えています。昨今の動画配信市場の急激な変化や、広告メディアの多様化など、当社グループを取り巻く環境は大きく変化しており、これまで以上の改革が必要と認識しています。

2025年に創業90周年という節目の年を迎える当社グループは、新しい分野や市場にチャレンジし続ける我々の強みを活かし、「変化対応」「最適な市場の選択」「新たなビジネスモデル」この3つのキーワードをベースにして、事業・人材ポートフォリオを構築し、資本効率を重視した新中期経営計画をスタートいたします。

当社グループは、経営理念で掲げる「誠実な精神をもって新たな価値創造につとめ、世界の人々に「驚きと感動」を与える映像コミュニケーショングループ」を目指して、これからも挑戦し続けてまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻の程よりしくお願い申し上げます。

2024年度事業方針

2024年度は、事業拡大を目指す「成長事業」と収益改善に注力する「変革事業」に分けて事業を推進してまいります。成長事業としてはゲーム制作プロセスにおけるE2E（End to End）サービスを展開する「ゲーム関連事業」、シリーズ累計3,300万部突破のライトノベル「薬屋のひとりごと」などグループの独自IPを展開する「IP創出」、自社生産・世界各国へ販売している「ハイスピードカメラ」、これら3つの事業拡大に注力してまいります。

変革事業については、映像コンテンツのローカライズや配信向けサービスをグローバルに展開する「グローバルE2E事業」とTVやCMのポストプロダクション（編集）サービスを展開する「TV関連事業」の収益改善を推進いたします。

この事業方針に加え、前年度の映画・ドラマの大型作品計上の反動、連結子会社の売却、ならびに米国ハリウッドにおける脚本家・俳優組合のストライキの影響を織り込み、2024年度は売上高980億円、営業利益（のれん等償却前）58億円、営業利益37億円、経常利益32億円、親会社株主に帰属する当期純利益20億円を目指してまいります。



今後に向けて

当社グループは「高収益体質のグループ」を実現するため2025年度を最終年度とした、中期経営計画「G-EST2025」（ジーエスト2025）を推進してまいりました。3年目である2023年度まで営業利益目標を連続してクリアすることができたものの、基本戦略の5つについては想定通りに進捗しているものと、新たに取り組むべき課題が見えてきたものがあります。さらにグローバルでの動画配信市場が急激に変化するなど、当社グループを取り巻く外部環境が大きく変化しており、中期経営計画の目標達成には、このような外部環境変化へのさらなる対応が必要と認識するに至りました。

そこで今回、①変化対応 ②最適な市場の選択 ③新たなビジネスモデル、3つのキーワードをベースに新たな中期経営計画を策定することといたしました。我々のビジネスは映像の制作領域を中心に競争力を有しているものの、資本効率性に課題があると認識しています。これまで築き上げてきた強みを活かしながら、高い競争優位性と資本効率を持つ、新たな事業グループを築き上げてまいります。2024年度は事業計画の完遂を目指しつつ、新たな中期経営計画を策定する1年といたします。なお、詳細につきましては、2025年5月に公表させていただく予定です。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループの新しい成長戦略にご期待を賜りますようお願い申し上げます。

PROFILE

- 2001年7月 フューチャーシステムコンサルティング株式会社 入社
- 2012年5月 当社 入社
- 2017年4月 当社 SDI事業統括部 課長
- 2018年4月 当社 グローバルコーポレート戦略部 課長
- 2019年4月 当社 執行役員
SDI Media Group Inc. Director
- 2021年4月 Pixelogic Holdings LLC Manager（現任）
PPC Creative Limited Director
- 2022年4月 株式会社ロボット 代表取締役社長（現任）
株式会社イマジカ・ライブ 代表取締役社長
- 2022年6月 当社 取締役執行役員
株式会社オー・エル・エム 取締役
株式会社ピクス 取締役（現任）
- 2024年4月 当社 代表取締役社長 社長執行役員（現任）

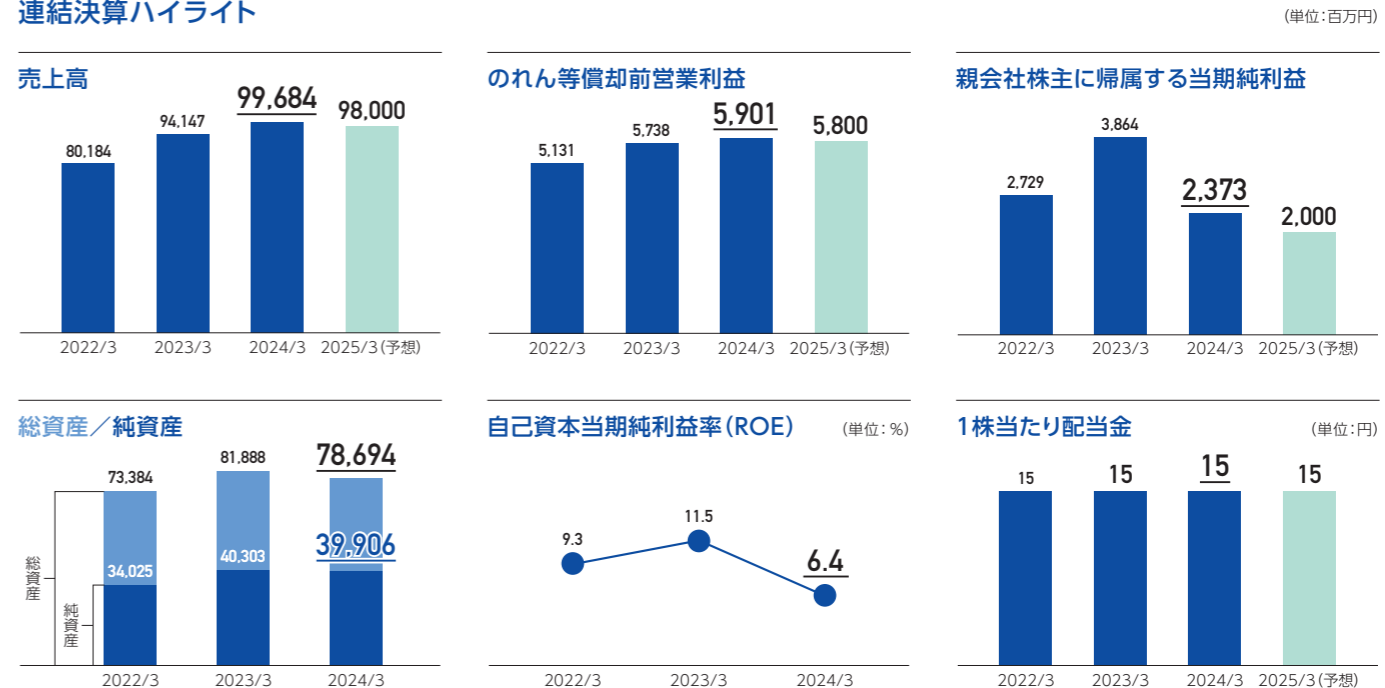
これまでの経歴

大学卒業後、ITコンサルティング会社で経験を積んだ後、自分で立ち上げた人材派遣サービス会社の経営を経て、2012年に当社へ入社いたしました。2017年からはアメリカで当社が買収した子会社の経営に携わり、その後、グローバルE2E事業の構築に向けて米国子会社の事業再編プロセスに深く関わることになりました。海外事業での経験は、私の財産となっています。2022年に帰国し、映像コンテンツ事業を手がける株式会社ロボットの代表取締役社長を務め、2024年4月に当社の代表取締役社長に就任いたしました。海外事業および映像コンテンツ事業での経験を活かし、グループ全体のさらなる成長に向けて邁進してまいります。

2024年3月期決算概要

当連結会計年度における当社グループの業績は、上場来最高となる売上高996億84百万円(前年同期比5.9%増)、ならびに営業利益39億24百万円(前年同期比1.4%増)を計上し、経常利益37億27百万円(前年同期比2.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益23億73百万円(前年同期比38.6%減)となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前年に移転補償金を含む特別利益を計上したため減益となりました。

連結決算ハイライト

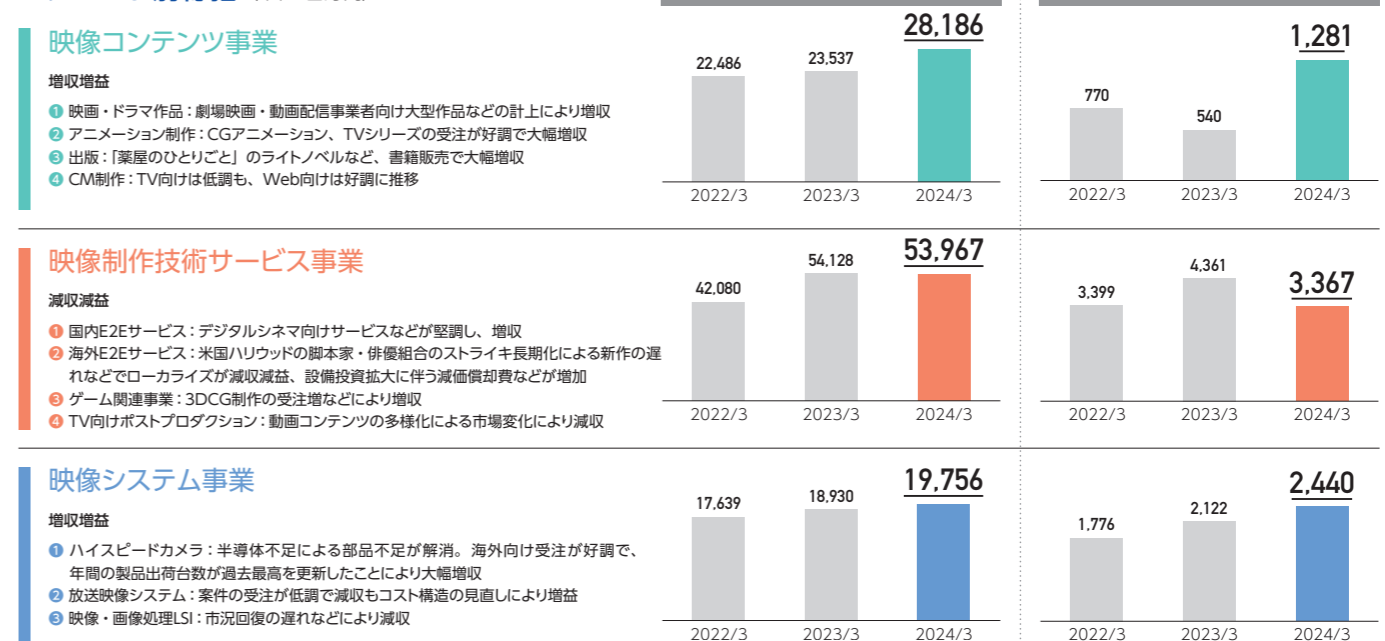


セグメント情報(2024年3月期売上高)

※ 連結売上高99,684百万円は、事業セグメント売上高の合計額と連結調整額を含んでおります。



セグメント別総括 (単位:百万円)





IP創出の実例「薬屋のひとりごと」と今後の取り組みについて

当社グループであるイマジカインフォスのライトノベルレーベル「ヒーロー文庫」より発行している『薬屋のひとりごと』は、小説に留まらず、2誌（月刊「ビッグガンガン」/スクウェア・エニックス刊、月刊「サンデーGX」/小学館刊）にてコミカライズされており、多くのファンに支持をされています。また、2023年10月から2024年3月まで放送されたTVアニメ第1期は、Netflix（TV部門・日本）で24週連続TOP10入りを果たしました。この快挙に加え、アジア7カ国でも継続してTOP10入りを達成し、海外でも広く高い評価をいただいております。

▶ 原作小説とコミックスの販売増によって収益に貢献

原作小説およびコミカライズを合わせたシリーズ累計販売部数は、TVアニメ放送と各種配信プラットフォーム等の影響もあり、2024年3月時点で3,300万部*を突破しました。（※電子版含む）



堅調な販売実績もあり、2023年度の映像コンテンツ事業における増益に大きく貢献いたしました。また、JR東海「推し旅」とのコラボ企画を実施し、好評を博しました。2025年にはTVアニメ第2期の放送が決定し、引き続き原作小説やコミックスの販売増に加え、企業とのコラボ企画、TVアニメ制作委員会からの出資配分金収入が期待される作品となっています。



JR東海「推し旅」×「薬屋のひとりごと」presents「薬屋、奈良のたび」
 ©Central Japan Railway Company All rights reserved.

▶ 新たなIP創出の取り組みについて

当社グループが取り組む新しいIP創出の1つが、従来と比べて時間やコストを大幅に抑制したアニメ制作手法である「ライトアニメ®」事業です。イマジカインフォスが大日本印刷と共同で事業を推進、拡大しつつあるアニメ制作ニーズに対応する新たな一手と考えています。その第1弾作品として「まあいい彼女と残念な彼氏」が6月7日からCBCテレビにて放送中です。当社グループは、既存作品だけでなく、新たなIP創出の取り組みも推進してまいります。



アニメ「まあいい彼女と残念な彼氏」

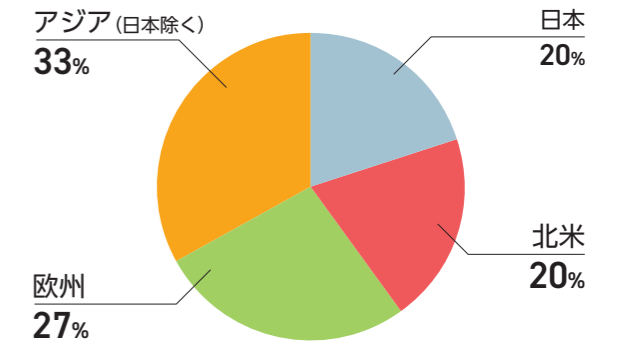
©Izumi Hayama・Yachiyo Okamura・una toon studio/LDF/「まるカノ」制作委員会



フォトロン「ハイスピードカメラ」の販売台数が過去最高を更新

当社のグループ会社フォトロンの主力製品である「ハイスピードカメラ」の2023年度販売台数は、コロナ禍以前の過去最高を更新して1,200台以上となりました。近年はコロナ禍の影響もあり、販売台数が落ち込んでいましたが、海外向けの自動車衝突試験向けシェアを積み上げたことや半導体不足の解消による生産稼働率の改善が要因で、販売台数を増加させることができました。

このような販売が堅調なハイスピードカメラは、研究用から産業用・工業用まで多岐にわたる製品ラインナップを取り揃えています。以下に主な製品と活用例をご紹介します。



主な製品および活用例

FASTCAM Nova Sシリーズ / FASTCAM Mini AXシリーズ

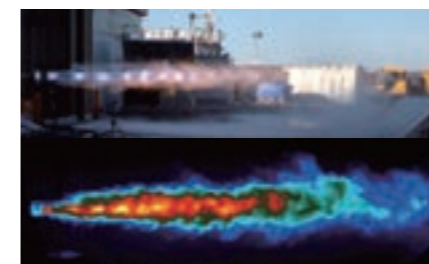


ターゲット

研究開発・学術

主な用途

流体解析、燃焼、切削、溶接、材料試験、歪解析など



高感度ハイスピードカメラによる燃焼試験の可視化(上)
 赤外線ハイスピードカメラによる温度計測(下)

FASTCAM MH6 / FASTCAM Nova R5-4K/R3-4K



ターゲット

自動車衝突安全試験・走行試験

主な用途

実車の衝突試験、車載ダミー人形の挙動解析、タイヤの挙動解析など



衝突安全性能試験

PhotoCam SpeederV2



ターゲット

生産現場・製造ライン

主な用途

トラブルシューティング



高速動作による製造プロセスを可視化

ハイスピードカメラは、1991年の発売以来、全ての開発・製造・販売・サポートを自社で行い、世界40カ国以上の最先端研究開発機関で活用されています。製品の販売だけでなく、お客様の課題に合わせた撮影・解析などのニーズに対応するソリューション提案型ビジネスを拡大し、さらなる収益向上を目指してまいります。

当社は、グループ全体で総合的かつ横断的にサステナビリティ活動を推進しております。

サステナビリティ方針

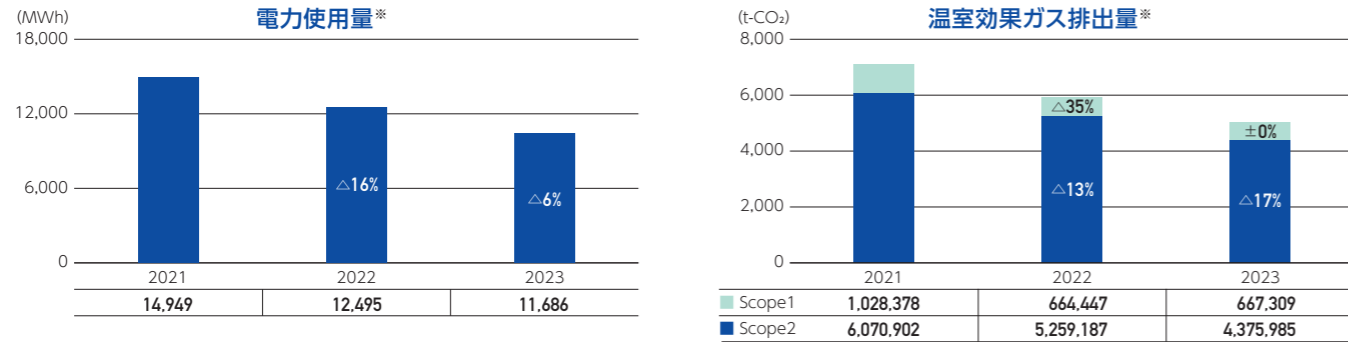
当社は、「世界の人々に“驚きと感動”を与える映像コミュニケーショングループ」という経営理念のもと、当社グループの持続的な成長を実現するとともに、“映像”を軸にした様々な活動を通じて社会の多様なニーズにお応えすることで、豊かで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティ委員会の推進

当社では、「サステナビリティ委員会」を設置し、グループ全体のサステナビリティに係る重要方針・取り組みの策定および経営戦略への反映を行っております。サステナビリティ委員会は、代表取締役社長を委員長とし、当社執行役員および当社直接子会社社長で構成され、定期的に開催しております。本委員会は、人的資本経営や気候変動対応、SDGsなどを含むサステナビリティ全般に関する活動に総合的かつ横断的に取り組んでおります。

気候変動への取り組み

当社グループは、事業活動における環境負荷軽減を目指し、電力使用量および温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。



* 国内連結子会社およびグループ各社の連結子会社18社を対象とする。グラフ内の%は削減率（対前年）を意味する。

人的資本への取り組み

当社グループでは、グループの総合力発揮、ならびにグループ会社の事業戦略を実現するために必要な人材を確保・育成・活性化させていくことを、人的資本経営の基本的な考え方としています。

〈目指すべきグループ総合力発揮の姿〉

- **バリューチェーン高度化**：当社グループが提供するサービスのバリューチェーン上でのカバー範囲拡大と、グループ各社の進化を当社が支援
- **グループ内共創**：当社は各領域でNo.1のグループ会社同士を繋ぎ、グループ内共創を実現

また、グループ横断で、グローバル人材の育成に向けたグローバルマインドセットを身に付ける研修やグローバルリーダー育成研修、海外トレーニー制度、および若手層や管理職向けなど各階層別の研修を計画的に実施しています。

当社サステナビリティサイト <https://www.imagicagroup.co.jp/sustainability/>



【SDGsへの取り組み事例】

当社では、グループの総合力を活用した子供体験教室「CREDUCTION® ACADEMY」を推進しております。本プロジェクトは、“映像”を通じた学びの機会を子供たちに提供することで、SDGsが掲げる目標「4. 質の高い教育をみんなに」「17. パートナリシップで目標を達成しよう」に貢献してまいります。

CREDUCTION ACADEMYの活動報告

<https://www.imagicagroup.co.jp/sustainability/credution-academy/>



2023年度の活動実績

- お天気ワークショップ
- 中学生の就業体験
- 車いすバスケットボール体験学習
- 学びの達人プロジェクト「ひらめきの科学 Vol.2」

お知らせ

公式note開設および公式サイトをリニューアルしました

当社グループは、より多くの方に当社グループが提供するサービスや製品、それらに携わる社員の想いなどをお届けするため、公式noteを開設いたしました。

公式サイトでは、当社グループのIP(知的財産)を紹介するページの開設や事業紹介ページのリニューアルを実施いたしました。今後も、情報発信の強化を図ってまいります。

▶ IMAGICA GROUP公式note <https://www.note.imagicagroup.co.jp/>



一般社団法人日本IR協議会主催の「IR優良企業賞2023」にて「IR優良企業奨励賞」を受賞



一般社団法人日本IR協議会は、IRの趣旨を深く理解し積極的に取り組み、市場関係者の高い支持を得るなどの優れた成果を挙げた会員企業を表彰しています。

選定理由としては、一見わかりにくい事業の理解を促そうとするIRの意識と、IRサイト構成も個人投資家や初めて関心を持つ機関投資家が情報にアクセスしやすいという点などを評価いただきました。今後とも株主・投資家の皆さまから信頼されるよう、真摯にIR活動に取り組んでまいります。

株主さまアンケートご協力をお願い【7月9日(火)まで】

株主の皆さまの率直なご意見・ご感想をぜひお聞かせください。今後のIR活動および株主通信制作等の参考にさせていただきます。

メールアドレスをご記入いただいた方の中から抽選で5名さまにムビチケカード(3,000円分)をプレゼントします。

作品情報

映画



©2024映画「陰陽師0」製作委員会



©2024「言えない秘密」製作委員会

ドラマ

P.I.C.S.企画・原作・制作
ドラマ「RoOT / ルート」



©P.I.C.S.・此元和津也 / RoOT 製作委員会

P.I.C.S.制作 / NHKドラマ
「岸辺露伴は動かない」
第9話「密漁海岸」



© LUCKY LAND COMMUNICATIONS / 集英社
©NHK/NEP/P.I.C.S.

アニメーション

イマジカインフォス×大日本印刷
ライトアニメ第一弾
アニメ「まあい彼女と残念な彼氏」



©Izumi Hayama・Yachiyo Okamura・una toon studio/LDF / 「まるカ」製作委員会

イマジカインフォス原作
TVアニメ「薬屋のひとりごと」
第2期2025年放送決定



©日向室・イマジカインフォス / 「薬屋のひとりごと」製作委員会